

2015年度  
中京大学 教職センター活動報告

2016年12月  
教職センター  
教学部教職支援課

## < 報告内容 >

---

はじめに

1. 免許取得者数
2. 教育実習の状況
3. 介護等体験の実施状況
4. 教員採用試験結果
5. 教員免許状更新講習
6. 各種教員採用試験支援内容
7. 教職センター委員会・教職センター会議等の活動記録

はじめに

2014年度の学内での議論を経て、2015年度に教職センターが発足しました。ここに1年間の活動を報告いたします。

このセンターは、各教科を代表する教科教育法および教科に関する科目担当教員、各教科に共通する教職に関する科目を担当する教職教育担当教員及び教職支援課の職員が、密接に連携して活動していくものです。センターができたことにより、これらセンター員が、日常的な個別課題と教職課程の在り方という範囲の大きい課題の両者に具体的に取り組み、議論の成果を全学に提供し提案するという活動が、より有機的かつより即応的にできるようになりました。

教職センターのような全学的組織を持つことは文部科学省も強く勧めているのですが、中京大学の場合、これまでの教師教育の取り組みの中で内発的にその必要性が感じられており、また経験の蓄積もできていたため、実質的に機能する組織づくりとなりました。

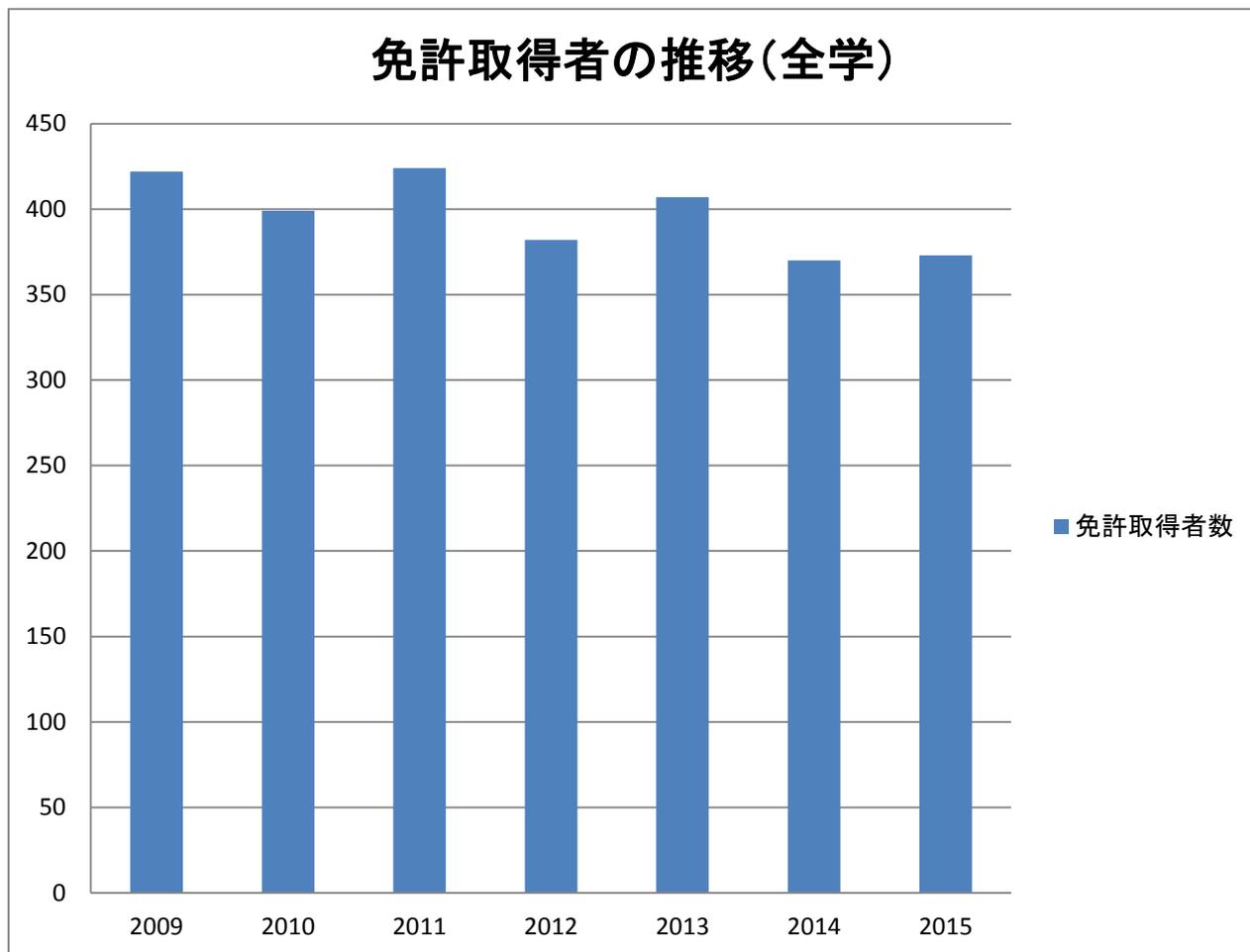
発足の初年度より「教員免許制度改革への対応を含むカリキュラムの改革」「教育委員会との連携による教師教育の充実と、大学の教育資源の外部への提供」「学生へのきめ細かい指導体制」「授業担当者の適格性の検討」等々、懸案に応じた多様な活動を進めてきました。同時に、諸課題について、全学での共通理解の徹底も図ってきました。また、こういった活動では、案件の処理の議論にとどまることなく、あるべき教師教育についての意見交換も自然に、頻繁になされることとなります。

中京大学教職センターの活動のモチベーションは、教職員共通して、学生の意欲と教職への適格性を強く感じとっているところにあります。2020年度に改定が予定されている新学習指導要領では、生きる学力をめざすとともに、それを実現しうる学習と指導についての考え方および手法の転換が必要とされています。中京大学の教職課程では、旧来の学校文化の再生産しかできないような教員は出してこなかった自負があります。これまでの教師教育の方向に自信を持ちつつ、あるべき教育の議論も重ね、有意義な実践に貢献できる人材育成を目指した活動の場として、教職センターを機能させていきたいと考えています。

教職センター長 杉江修治

## 1. 免許取得者数

### 1-1. 免許取得者の推移



年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
免許取得者数	422	399	424	382	407	370	373

免許取得者数は、少しずつ減少の傾向にある。要因としては、教職センターの指導として、教職課程履修を容易なものとして捉えず、強い教職への志望がある学生に教職課程履修をガイダンス等で勧めている。その影響もあって免許取得者数は減少傾向にある。

## 1-2. 免許種類別取得者数

### 学部

2015年度

免許状の種類	件数	教科別内訳	
		教科	件数
中学校教諭1種免許状	337	国語	20
		社会	34
		数学	12
		保健体育	253
		外国語(英語)	18
高等学校教諭1種免許状	372	国語	22
		地理歴史	20
		公民	28
		数学	12
		書道	7
		保健体育	254
		情報	3
		商業	4
外国語(英語)	22		
特別支援学校教諭1種免許状	1		
計	710		
申請者の人数(実人員)		355名	

### 大学院

2015年度

免許状の種類	件数	教科別内訳	
		教科	件数
中学校教諭専修免許状	13	国語	2
		保健体育	11
高等学校教諭専修免許状	14	国語	2
		保健体育	12
計	27		
申請者の人数(実人員)		14名	

本学の特徴として、保健体育免許(中・高)の免許取得者数が多い。

1 - 3. 学部別免許取得者数

学部・学科	区分	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
文学部 日本文学科	実人数	18	20	22	20	16
	中一種免（国語）	14	16	18	17	14
	高一種免（国語）	18	20	22	20	16
	高一種免（書道）	2	8	4	3	4
文学部 言語表現学科	実人数	4	4	4	6	6
	中一種免（国語）	4	4	4	6	6
	高一種免（国語）	4	4	4	6	6
	高一種免（書道）	1	2	1	0	3
国際英語学部 国際英語学科	実人数	9	11	12	5	10
	中一種免（英語）	9	9	12	4	7
	高一種免（英語）	9	11	12	5	10
国際英語学部 英米文化学科	実人数	9	11	9	12	12
	中一種免（英語）	9	11	9	11	11
	高一種免（英語）	9	11	9	12	12
国際教養学部 国際教養学科	実人数	0	2	0	1	1
	中一種免（社会）	0	1	0	1	0
	高一種免（地歴）	0	0	0	1	0
	高一種免（公民）	0	1	0	0	1
	中一種免（中国語）	0	0	0	0	0
	高一種免（中国語）	0	0	0	0	0
心理学部 心理学科	実人数	7	3	4	10	7
	中一種免（社会）	2	2	3	9	7
	高一種免（公民）	7	2	4	8	6
	特支一種免（知）	3	1	2	7	1

学部・学科	区分	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
現代社会学部 現代社会学科	実人数	20	20	17	26	16
	中一種免（社会）	13	17	15	21	11
	高一種免（地歴）	15	9	14	17	12
	高一種免（公民）	14	13	6	16	15
	高一種免（福祉）	0	0	1	0	0
法学部 法律学科	実人数	7	3	3	2	6
	中一種免（社会）	7	3	2	2	6
	高一種免（地歴）	4	0	3	2	4
	高一種免（公民）	5	0	1	1	1
総合政策学部 総合政策学科	実人数	0	3	2	4	6
	中一種免（社会）	0	2	1	4	6
	高一種免（地歴）	0	3	0	3	2
	高一種免（公民）	0	1	1	3	1
経済学部 経済学科	実人数	4	5	7	5	3
	中一種免（社会）	2	3	4	1	2
	高一種免（地歴）	2	2	5	3	1
	高一種免（公民）	2	1	3	4	2
	高一種免（商業）	1	2	1	1	1
経営学部 経営学科	実人数	3	8	6	4	5
	中一種免（社会）	1	2	2	0	2
	高一種免（地歴）	1	1	2	0	1
	高一種免（公民）	1	0	3	0	2
	高一種免（商業）	2	6	3	4	3
情報理工学部 情報システム工学科	実人数	3	4	4	8	5
	中一種免（数学）	1	2	3	7	5
	高一種免（数学）	3	4	2	8	5
	高一種免（情報）	2	1	2	3	1

学部・学科	区分	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
情報理工学部 情報知能学科	実人数	2	3	0		
	中一種免 (数学)	2	3	0		
	高一種免 (数学)	2	3	0		
	高一種免 (情報)	1	1	0		
情報理工学部 情報メディア工学科	実人数	4	2	12	5	6
	中一種免 (数学)	3	2	9	5	5
	高一種免 (数学)	4	2	9	5	6
	高一種免 (情報)	2	1	4	2	2
情報理工学部 機械情報工学科	実人数	5	4	1	6	2
	中一種免 (数学)	4	4	1	5	2
	高一種免 (数学)	3	3	0	5	1
	高一種免 (情報)	2	0	0	2	0
体育学部 体育科学科	実人数	276	239	219	1	
	中一種免 (保健体育)	273	239	219	1	
	高一種免 (保健体育)	276	239	219	1	
体育学部 健康科学科	実人数	53	44	60		
	中一種免 (保健体育)	53	44	60		
	高一種免 (保健体育)	53	44	60		
スポーツ科学部 スポーツ教育学科	実人数				101	104
	中一種免 (保健体育)				101	104
	高一種免 (保健体育)				101	104
スポーツ科学部 競技スポーツ科学科	実人数				95	108
	中一種免 (保健体育)				95	107
	高一種免 (保健体育)				95	108
スポーツ科学部 スポーツ健康科学科	実人数				34	42
	中一種免 (保健体育)				34	42
	高一種免 (保健体育)				34	42
免許状取得者数 (実人数)		424	386	382	345	355

## 2. 教育実習の状況

### 2-1. 学部別教育実習者数

年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
実施者数	458名	410名	440名	372名	380名

#### 2015年度

学部	時期	前期 (5~7月)	後期 (8~12月)	合計人数	備考
日本文学科		16	0	16	
言語表現学科		6	0	6	
国際英語学科		11	0	11	
英米文化学科		12	0	12	
国際教養学科		1	0	1	
心理学科		6	2	8	
法律学科		6	0	6	
総合政策学科		6	0	6	
経済学科		4	0	4	
経営学科		5	0	5	
現代社会学科		13	1	14	
情報システム工学科		7	0	7	
情報メディア工学科		7	0	7	
機械情報工学科		2	0	2	
スポーツ教育学科		87	30	117	
競技スポーツ科学科		91	24	115	
スポーツ健康科学科		34	9	43	
総計		314	66	380	

教職課程履修者の減少とともに、教育実習者数も減少傾向にある。教育実習時期については、春学期が約8割、秋学期が約2割である。学部別ではスポーツ科学部（保健体育）が最も多く、次いで文学部（国語）国際英語学部（英語）となっている。

## 2-2. 都道府県別・校種別教育実習者数

2015年度

都道府県	教育実習者数
愛知	195
岐阜	29
三重	24
静岡	14
兵庫	9
長野	8
大阪	7
広島	6
香川	6
富山	6
京都	5
熊本	5
埼玉	5
福井	5
北海道	5
岡山	3
群馬	3
山口	3
滋賀	3
新潟	3
神奈川	3
石川	3
鳥取	3
島根	3
徳島	3
愛媛	2
青森	2
長崎	2
東京	2
奈良	2
福岡	2
和歌山	2
宮崎	1
高知	1
佐賀	1
山形	1
大分	1
栃木	1
福島	1
総計	380

2015年度

校種	教育実習者数
中学校	127
高等学校	243
中学校・高等学校	9
特別支援学校	1
総計	380

都道府県別では東海3県（愛知・岐阜・三重）で約65%を占めるが、東海3県以外にも全国36都道府県という非常に広範囲に渡って教育実習に行っているのも本学の特徴である。

### 3. 介護等体験の実施状況

#### 3-1. 介護等体験(社会福祉施設)実施者数

年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
実施者数	442名	439名	394名	382名	362名

2015年度

No.	種別	番号	施設名	キャンパス	実施者数	
1	高齢者	シ021	安立荘	豊田	10	
2		特別養護老人ホーム	シ022	特別養護老人ホーム フラワー園	豊田	9
3			シ032	小原安立	豊田	4
4			シ038	特別養護老人ホーム 黒石荘	豊田	9
5			シ041	特別養護老人ホーム 誠和荘	名古屋	10
6		養護老人ホーム	シ042	養護老人ホーム 誠和荘	名古屋	9
7		老人デイサービスセンター	シ002	なごやかハウス岳見デイサービスセンター	名古屋	9
8			シ011	デイサービス星崎	豊田	5
9			シ026	とよた苑デイサービスセンター	豊田	10
10			シ037	豊寿園デイサービスセンター	豊田	5
11			シ040	なごやかハウス名西 デイサービスセンター	豊田	10
13	児童福祉・障害児	シ008	照光愛育園	豊田	11	
14		児童養護施設	シ015	光輝寮	豊田	12
15			シ024	慈友学園	名古屋	10
16			シ029	岡崎平和学園	豊田	12
17			母子生活支援施設	シ027	愛のさと梅坪	豊田
18		シ045		愛知昭和荘	名古屋	12
19		障害児入所	シ004	名古屋市あけぼの学園	名古屋	10
20			シ019	小原学園	豊田	11
21		障害児通所	シ028	豊田市障がい者総合福祉会館	豊田	10
22			シ033	ひまわり	豊田	5
23	身体障害者	シ014	春日苑	豊田	6	
24		シ017	豊田市さくらワークス	豊田	10	
25		シ025	ひかりの丘	豊田	8	
26		シ043	ハートランド小牧の杜	豊田	10	
27		シ046	わかくさ学園	豊田	10	
28		障害者(身体・知的)	シ001	サポートセンター-being瑞穂	豊田	12
29	シ006		リサイクル港作業所	豊田	10	
30	シ013		はさま	豊田	10	
31	シ016		けやきワークス	豊田	6	
32	シ018		豊田市障がい者総合支援センター暖(ダン)	豊田	11	
33	シ048		サポートセンター-being吹上	豊田	5	
34	知的障害者	シ012	養和荘	豊田	10	
35		シ030	けやき作業所	豊田	11	
36		シ034	そだちの家	豊田	12	
37		シ036	ぬくもりワークス	豊田	10	
38		シ039	ゆたか希望の家	名古屋	8	
36	シ047	いわざき授産所	豊田	12		
38	生活保護・救護施設	シ023	愛恵園授産所	豊田	8	
合計					362	

教職課程履修者の減少とともに、体験者数も減少傾向にある。実施施設数としては、豊田学舎で31施設、名古屋学舎で7施設の愛知県内38施設にて介護等体験を実施した。

### 3-2. 介護等体験(特別支援学校)実施者数

年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
実施者数	442名	440名	388名	388名	366名

#### 2015年度

No.	種別	学校名	キャンパス	実施者数
1	知的障害	愛知県立 みあい特別支援学校	豊田	35
2		愛知県立 安城特別支援学校	豊田	65
3		愛知県立 三好特別支援学校	豊田	50
4		愛知県立 春日井高等特別支援学校	豊田	69
5		愛知県立 豊田高等特別支援学校	豊田	70
6		愛知県立 いなざわ高等特別支援学校	名古屋	28
7		愛知県立 佐特別支援学校	名古屋	20
8		名古屋市立 天白養護学校	名古屋	18
9	肢体不自由	豊田市立 豊田養護学校	豊田	11
合計				366

教職課程履修者の減少とともに、体験者数も減少傾向にある。実施学校数としては、豊田学舎で6校、名古屋学舎で3校の愛知県内9校の特別支援学校にて介護等体験を実施した。



年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
<b>全合格者数</b>	<b>202名</b>	<b>218名</b>	<b>220名</b>	<b>219名</b>	<b>233名</b>
中学校	69名	97名	81名	73名	84名
高等学校	41名	49名	56名	46名	54名
中学校・高等学校	3名	2名	3名	3名	3名
小学校	62名	44名	47名	57名	56名
特別支援学	27名	26名	33名	38名	36名
その他 <small>(兼教・校種不明)</small>	0名	0名	0名	2名	0名

2015年度教員採用試験現役合格者数は、統計を取り始めて以来、過去最高の合格者数となった。

現役・既卒の合計では毎年200名を超える合格者を輩出している。

自治体別では、愛知県、名古屋市以外にも、神奈川県、横浜市、堺市など、関東・関西圏においても複数の合格者が出ている。

#### 4-2. 教員採用試験結果(学部別)

( )実数

2015年度	文		心理	法	経済	経営	情報理工	国英		総合政策	国際教養	現代社会	情報理工		スポーツ			体育学研究科	合計
	日本文	言語表現	心理	法律	経済	経営	機械情報工	国際英語	英米文化	総合政策	国際教養	現代社会	情報システム	情報メディア	スポーツ教育	競技スポーツ	スポーツ健康		
高校	1					1		2	3(2)						3	2	2		14(13)
中学	4(3)	1						3(2)	4(3)			5(3)	1		14(11)	3	1		36(28)
中・高																			
小学校												1			24(18)				25(19)
小・中																			
特別支援																			
合計	5(4)	1				1		5(4)	7(5)			6(4)	1		41(32)	5	3		75(60)
名古屋/豊田	19(15)											56(45)							

2014年度	文		心理	法	経済	経営	情報理工	国英		総合政策	国際教養	現代社会	情報理工		スポーツ			体育学研究科	合計
	日本文	言語表現	心理	法律	経済	経営	機械情報工	国際英語	英米文化	総合政策	国際教養	現代社会	情報システム	情報メディア	スポーツ教育	競技スポーツ	スポーツ健康		
高校	2	1						1								4(2)	2		10(8)
中学	2	1					2	2		2(1)		2(1)	1	4	3	1	1		21(19)
中・高												1							1
小学校								2							17(13)				19(15)
小・中														1					1
特別支援			2																2
合計	4	2	2				2	5		2(1)	1	2(1)	1	22(18)	7(5)	3	1		54(46)
名古屋/豊田	17(16)											37(30)							

2013年度	11(10)	1			1			4(3)	2			1				29(28)			49(46)
名古屋/豊田	19(17)											30(29)							

2012年度	6(5)	1	1					2(1)	4(2)				1		33(27)		3		51(41)
名古屋/豊田	14(10)											37(31)							

スポーツ科学部(教科:保健体育)を筆頭に、文学部(教科:国語)、国際英語学部(教科:英語)での現役合格者が多い。

社会系学部においても数は少ないが合格者(社会教科)も出ている。

2015年度、経営学部より商業の現役合格者が出た。

5. 教員免許状更新講習

2015年度実施

必修/ 選択	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間
必修	教育の最新事情	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教師のライフコース」を辿りながら、子ども観・教育観について考察する。ワークショップを取り入れる。</li> <li>・発達障害児の理解とその支援について検討する。</li> <li>・近年の生活状況の変化を踏まえた生徒指導や、カウンセリングマインドに基づいた支援のあり方について検討する。</li> <li>・学力の本質の解明と新学習指導要領とを対照する。</li> <li>・学級崩壊克服から生き生きとした学びの学校づくりを成し遂げた体験を通して理解を図る。</li> </ul>	小峰 総一郎(国際教養学部教授) 首藤 祐介(心理学部助教) 鎌田 陽世(国際教養学部非常勤講師) 大内 裕和(国際教養学部教授) 山本 美一(元公立学校校長)	12時間	平成27年8月4日～ 平成27年8月5日
選択	健康・スポーツに関する指導 (保健体育科のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育の概要とその実際。HQC(ヘルスクオリティコントロール)における、特性要因分析、チェックリストの実際とその効果。</li> <li>・生涯スポーツからみた健康スポーツの指導:フロー理論にみるスポーツの楽しみ方と指導者の役割</li> <li>・スポーツ科学を利用したコーチング:身体の仕組み・力学・オリンピック育成の実践例</li> <li>・動きで怪我を予防する:パフォーマンス向上と怪我の予防をつなげる動きの基本と修正アプローチ</li> </ul>	小磯 透(スポーツ科学部教授) 菊池 秀夫(スポーツ科学部教授) 田内 健二(スポーツ科学部准教授) 倉持 梨恵子(スポーツ科学部講師)	6時間	平成27年8月3日～ 平成27年8月3日
選択	言葉への理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語から見た日本語、日本語から見た英語、日本語と英語の相違や共通点について概観しつつ、教員として「ことば」とどう向き合うかを考える。</li> <li>・多言語社会の言語政策、言語状況、教育の現状を、特にインドの事例を踏まえて報告する。教育言語、母語の重要性、英語の功罪、言語学習負担、インドの教育問題等について考察する。</li> </ul>	中川 直志(国際英語学部准教授) 榎木 鉄也(国際英語学部教授)	6時間	平成27年8月3日～ 平成27年8月3日
選択	新しい国語科指導 (国語科のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科における文字の指導について、理論と実技を通じて学習する。①文字の知識(漢字、ひらがな、字形、筆順) ②毛筆・硬筆を使用した運筆技法(筆法、筆圧、速度) ③文字鑑賞の観点</li> <li>・上代から近代に至る主要作品を①季節②行事をテーマに、時代縦断的に教材として取り上げて、その共通点・相違点などに注目することで、新教材としての可能性を追究したい。</li> </ul>	大池 茂樹(文学部教授) 佐々木 俊臣(文学部客員教授)	6時間	平成27年8月6日～ 平成27年8月6日
選択	ワークショップ:協同学習の基礎	日本協同教育学会が開発した協同学習の進め方の基本習得のためのワークショップを行う。受講者参加型の講習となる。 ①協同の考え方に立つ学習観・教育観 ②授業で使える協同の技法	有本 高尉(国際教養学部非常勤講師)	6時間	平成27年8月6日～ 平成27年8月6日
選択	生活指導と道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ評議会が開発・推進してきた人権教育実践の一部を体験してもらうとともに、その背景にある経験学習理論を検討し、我が国の道徳教育のあり方を考える</li> <li>・「いじめ」などの生徒指導上の諸問題に関して、トラブルへの対応にとどまらない、日常的な指導のあり方について実践事例を交えて検討する。</li> </ul>	原口 友輝(国際教養学部講師) 照本 祥敬(国際教養学部教授)	6時間	平成27年8月7日～ 平成27年8月7日

必修1講習、選択5講習を実施している。すべての講習を8月に実施しており、多くの現職教員に受講いただいた。

## 6. 各種教員採用試験支援内容

---

教員採用試験対策として、筆記試験および人物評価試験の対策を行っている。特に人物評価試験については、学校教員経験者を指導者として招き、教員採用試験対策だけでなく教員となったときに第一線で活躍することができることも念頭に、実際の学校現場での課題や児童・生徒との接し方などをはじめ、様々な支援や指導を行っている。

### (1) グループ学習会

人物評価試験対策を中心とした学生自身で自主的に学びを進めていく学習会。指導者として学校教員経験者が入り、学習状況に応じてアドバイス等を行っている。教員の資質にかかわる学びも行いながら、人物評価試験の枠を超えた指導も行っている。教員採用試験対策として3年生秋学期、4年生春学期（教員採用試験直前）まで行い、また試験対策ではない教壇に立つ上での必要な指導を4年生秋学期で行った。

### (2) 小論文個別添削

低学年に行うガイダンス形式の講義で小論文の書き方を学び、実際に自身で書き上げた自己PR文や小論文過去問題、さらに提示した予想問題に対して書き上げてきた文章を個別で指導する。個人に合わせたきめ細かい指導を行い、合格できる小論文の書き方を身につけさせる。3年生秋学期より個別添削の時間割を設定し、教員採用試験2次試験直前まで指導を行った。

### (3) OB・OGによる学習会

名古屋市採用試験対策（1次・2次）や、その他自治体向け採用試験対策（1次・2次）でOB・OG教員を招き1日かけて面接対策と実技対策を行った。それぞれ、1次対策は4～5月、2次対策は8月に行った。在学生だけでなく卒業生も参加した。

### (4) 教員採用試験合格者報告会

教員採用試験合格者による体験談報告会で各キャンパスごとに行った。合格者より試験勉強方法や取り組み方、モチベーションの維持などを報告してもらい、個別面談も通して次年度教員採用試験を受ける学生にアドバイスを行ってもらった。特に個別で相談できるため、専門教科の勉強方法などととても参考となったという感想も多かった。

### (5) 教員採用試験対策講座

小論文を除いた筆記試験対策として、一般教養、教職教養、そして一部専門教養試験の対策講座を実施。2年生秋学期よりまずは基礎学習としてスタートし、3年生で年間を通してより深く学び、4年生で過去問題を中心として対策を行った。

### (6) ゲストスピーカー招聘

生徒指導も意識した道徳・生徒指導・食育の学びとして、OB教員を招いて講義を行った。現場で実際に問題になっていることを始め、自身では学ぶことができない領域の学習を行った。

### (7) その他

学校ボランティアの紹介、教育機関や学校との連携事業等を紹介するガイダンスは低年次より行い、進路選択としての教職への意思決定や学校現場経験を積めるよう早期から支援を行った。また進路相談など、個別の対応も随時行った。

## 7. 教職センター委員会・教職センター会議等の活動記録

### (1) 教職センター委員会

回	日時	場所	議題
1	2015年4月29日(水)	センタービル9F 第5会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職センター委員会委員長の選出について</li> <li>・2014年度教員免許状取得者数及び件数について</li> <li>・2014年度教員採用試験合格者数について</li> <li>・昨年度教職課程申請の報告について 等</li> </ul>
2	2015年11月25日(水)	センタービル9F 第5会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度教員採用試験合格者数について</li> <li>・中教審教員養成部会の動向(答申素案)について</li> <li>・中京大学教師教育論叢について</li> <li>・2016年度「教員免許状更新講習」について 等</li> </ul>

### (2) 教職センター会議

回	日時	場所	議題
1	2015年5月29日(金)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省実地視察観点から見た課題について</li> <li>・平成24年中教審答申から見た課題について</li> <li>・教職に関する科目における教員審査について</li> <li>・教員採用試験対策イベントについて等</li> </ul>
2	2015年7月22日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会からの報告</li> <li>・本学シラバスの記載方法について(授業計画)</li> <li>・教職センターパンフレット作成について 等</li> </ul>
3	2015年11月4日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会からの報告</li> <li>・中教審教員養成部会の動向について</li> <li>・今後の本学の教職課程について</li> <li>・2015年度教員採用試験結果について 等</li> </ul>
4	2016年3月2日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会からの報告</li> <li>・中教審教員養成部会の答申について</li> <li>・教職センター中期計画・目標設定と活動報告 について 等</li> </ul>

### (3) 各種部会

#### ●教育委員会人事交流検討部会

回	日時	場所	議題
1	2015年7月10日(金)	豊田教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会との人事交流について (方法・進め方) 等</li> </ul>
2	2015年11月24日(火)	豊田教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市教育委員会と連携方針や相互の要望・内容 (ボランティア活動参加や大学への講師派遣など) 確認について 等</li> </ul>
3	2015年12月15日(火)	豊田教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・覚書の文書及び具体的な連携内容・方法(ボラン ティア、出前授業)等の精査 等</li> </ul>
4	2016年2月12日(金)	豊田教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・覚書の連携内容とその運営について (豊田市教育委員会と相互確認)</li> </ul>
5	2016年3月31日(木)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田市教育委員会と覚書締結</li> </ul>

#### ●社会系科目担当者検討部会

回	日時	場所	議題
1	2015年6月19日(金)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目担当者の変更について</li> <li>・科目担当者の業績確認について 等</li> </ul>

#### ●全学的教職指導部会

回	日時	場所	議題
1	2015年7月15日(水)	名古屋教職支援課 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学的な学生への教職指導の取組及び体制に ついて 等</li> </ul>
2	2015年10月22日(木)～	メール会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職履修カルテを活用した全学的教職指導強化 について 等</li> </ul>
3	2016年2月22日(月)～	メール会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職履修カルテの変更について 等</li> </ul>